

全国司法書士女性会FAX通信289号 (2015年9月号)

発行責任者 会 長 大 城 節 子

事務局 〒579 - 8036大阪府東大阪市鷹殿町 1 - 7

司法書士法人東大阪前川滝川事務所内

Tel 072-981-5281 fax 072-987-3460

e-mail joseikai@aotakigawa.com

<http://shihosyoshi-joseikai.com/>

こんにちは。副会長の鶴川智子です。

10月3日京都での全国司法書士女性の集いの第一部開催地、
大徳寺黄梅院の住職様をお願いをして原稿を書いて頂きました。
皆様、是非ご一読下さい。

雑感

小 林 太 玄

五月末日、明治維新、「白虎隊」で名を残した福島県会津若松市にて今般鶴ヶ城修復工事完工五十周年記念講演を依頼されて出向した。当市を訪ねること今般四度目となり訪問する度に思い入れが強くなる。^{なにゆえに}何故、それは私の住いする寺にはかつて城主だった「蒲生氏郷公」が祀られているからである。四十年前住職となったばかりの私は公の墓石が四百年の時を重ね荒れ放題で墓参する人もいなかったことを記憶している。歴史上偉大な人物であるにもかかわらず気の毒なことであった。遺骨を洗い、武士の命の大刀の錆を落とし墓石を修復し追善供養を重ねる度にいつしか人の知れる所となり、遂には六、七年から公の生誕地・滋賀県日野町と公が初めて城主となった三重県松阪市、その後転封した福島県会津若松市、この二市一町が今では「顕彰会」の結成を見ている。公は幼名を鶴千代といい日野に父・蒲生賢秀の息として生を受け育てられていたが、十三才の時、信長の人質となるも元服の後、信長の息女「冬姫」と夫婦となり信長から信頼される武将となっていく。三十才で三重県松阪城主となり三十三才で会津若松城主となって出世するも四十才の二月七日「限りあれば吹かねぞ花は散るものを 心短き 春の山嵐」の辞世の句を残して逝った公を偲び、追善を重ねているのである。公は沢山の功績を残した勇猛なる武将ではあるが特筆すべき事は秀でた文化人

であったことである。参禅に心掛け、キリスト教を信仰し、茶道を利休に学び、利休七哲の第一人者として名をはせていることは有名である。利休が秀吉に切腹を命じられ果てた後、利休の息・少庵を利休の茶道・道統を護る為に会津の地でかくまい育てた。その後、家康と計り秀吉に千家再興の許しを願い出、許され屋敷を与えられて今日の茶道隆盛をきたす礎となっていると言っても過言ではない。茶道を学んでおられる方々に特に氏郷公あらばという歴史上の背景を心にとめていただきたい。

平家物語に「祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり 沙羅双樹の花の色 盛者必衰の理をあらわす おごれる者は久しからず ただ春の夜の夢の如し云云」の一節が自然と口に出る。

人類の歴史上、人が人を殺す無益な戦争を繰り返している。私達は生命の尊さ、素晴らしさ認識し愚かな行動は決して繰り返してはいけない。人と人とのつながりを大切に、先人たちが必死に守り残した多くの大切な事を次の世代に伝承すべきだとを望んでいるのは私だけではあるまい。

会津若松城主となりて城を築き、自身の幼名の鶴千代から鶴の字をとりて鶴ヶ城と命名した氏郷公の心を偲び見事に生きぬいた公への賛辞を贈り平成二十五年 NHK 大河ドラマ「八重の桜」の主人公を演じた綾瀬はるかさんの名演技であった鉄砲を打つ女の姿・ストーリーを思い出しながら会津の地を後にしたのであった。

全国司法書士女性会 総会のご案内は別添のとおりです。

今後の予定 11月28日各士業女性合同研修会を
大阪弁護士会館にて テーマ「マイナンバー制度」を行います。
詳細は、後日のFAX通信でお知らせいたします。 乞うご期待です。

今回、当会特別会員の龍谷大学の今川嘉文教授から、法人の用途秘匿金についての記事をいただきました。とても興味深い内容です。ぜひご一読ください。